



Title	地方自治論
Author(s)	沖田, 哲也
Citation	資料センターニュース, 15-16: 12-12
URL	http://hdl.handle.net/10291/12538
Rights	
Issue Date	1980-03-15
Text version	publisher
Type	Departmental Bulletin Paper
DOI	

<https://m-repo.lib.meiji.ac.jp/>

地方自治論

沖田 哲也

この講義は、地方自治本質論、制度機能論、地方政治論、都市問題にわけて
いる。ここでは、後期後半に述べる都市問題なかんずく、日本の大都市成立史
を部分的に記してみようと思う。日本の大都市の展開過程と社会構造は、世界
に類をみないユニークな特質を有している。それは、明治維新以降のいわゆる
国づくり（近代化）の場を都市（化）に求め、さらに工業（化）に求めたこ
と、また、人間（新しい日本人）の養成の手段としての教育の場を、同じ都市
に求め、かくて日本のすべての志向方向を都市にいたらしめた結果であった。
現今、日本の都市の機能は、こうして社会機能全体の重積地域として、発展を
促すに至ったのである。いわゆる中央集権制は、社会的には東京志向性、地方
大都市志向性を意味するのは、こうした経緯による。今日、日本の行政的伝統
である都市優先政策は、この意味で改めて考えなおす必要がある。